

2025 年度

東京都立大学

大学院

システムデザイン研究科

システムデザイン専攻

博士前期課程入学者選抜試験問題

(冬季入試)

インダストリアルアート学域

小論文

(90 分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験中は、受験票、時計（計時機能だけのものに限る）、黒色鉛筆（シャープペンシルを含む）、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く）、メガネ、消しゴム（電動式を除く）、辞書（英和・和英、ただし、電子辞書は除く）、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬、点鼻薬及び胃腸薬以外のものを机上に置かないでください。
3. 携帯電話等は、必ず電源を切ってからかばんなどの中に入れ、身につけないこと（身につけている場合は原則として不正行為となる）。
4. 試験開始後に、印刷の不鮮明な箇所、落丁等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。
5. 問題用紙は3枚（表紙は除く）、解答用紙は4枚、下書き用紙は4枚ある。
解答用紙、下書き用紙ともに記入欄が不足しても追加で配付はしないので注意すること。
6. すべての解答用紙、下書き用紙の指定された箇所に、受験番号及び氏名を記入すること。
7. 解答用紙、下書き用紙はすべて提出すること。
8. 問題冊子は持ち帰ること。
9. 試験時間終了まで退出できないので注意すること。

小論文 問題

【問題】

【文章1】と【文章2】は、異なる研究領域から、ロボットや人工生命体、人工知能に関する未来のあり方について予測を論じたものである。今後の技術進化や社会の変化とともに、これからの暮らしの中で、われわれ人間はロボットに対し、より人間に寄り添う存在であることを求めると予想される。その時、あなたの専門領域の視点で、将来どのような懸念があるかを予想しなさい。そして、起こりうる問題に対してデザイナーやアーティスト、研究者といった専門家に、何ができるか論じなさい。解答にあたっては、【文章】内のキーワードやセンテンスをひとつ以上引用し（どの文章からいくつでも構わない）、さらに【文章】内の事例以外の具体的な事例をひとつ以上あげること。

条件・注意点

- 引用部分は鍵括弧で囲み、引用した元の文章番号を丸括弧で記すこと。
例：「○○○○○○」(文章1)
- 内容を要約した適切なタイトルを、解答用紙1枚目のタイトル欄に記入すること。
- 解答用紙(400字詰め)は必ず4枚使用し、小論文は1600字以内にまとめること(タイトルは小論文の字数には含まない)。
- 英語で解答する場合は、解答用紙のマス目にとらわれず自由な字数で記述してよいが、解答用紙は必ず4枚以内に収めること。英語のタイトルに字数の制限はないが1行に収めること。

【文章1】

著作権の観点から、公表していません。

出典=石黒浩『ロボットとは何か——人の心を映す鏡』（講談社現代新書、2009年）「エピローグ」237ページ
9行目から16行目、第7章「ロボットと情動」173ページ9行目から175ページ1行目まで

【文章2】

著作権の観点から、公表していません。

出典=明和政子『ヒトの発達の謎を解く——胎児期から人類の未来まで』（ちくま新書、2019年）第6章「人間の未来を考える」189ページ4行目から190ページ9行目まで